

競技注意事項

2020 名古屋地区秋季競技会

※新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう注意事項

① 競技者及び来場者に関して

1) 来場にあたっては、3つの密（密閉、密集、密接）を避け、参加競技者及び引率者（監督・コーチまたは引率顧問、保護者引率の場合は保護者）のみで来場してください。

2) 競技者及び引率者は競技会開催1週間前から検温を実施し、個人または団体ごとに指定の報告書（チェックリスト）に記載し、招集時に提出してください。書式については大会エントリーファイルに添付の様式を使用してください。

チェックリストを提出しない競技者及び引率者については、原則として競技場への入場及び参加を認めない場合があります。

3) マネージャーは、各団体2名まで入場を認めます。

4) 入場口及び退場口は限定されており、入場の際には必ず体調管理シート・ADカード・役員章等を提示してください。体調管理シート・ADカード等のない方は入場でません。

① 出場者はメインスタンド正面出入口からのみの入出場とします。マネージャーは、補助員と同じ場所で受付をした後に、正面出入口カラ入退場してください。

② 団体受付・競技役員・補助員・マネージャーの受付は競技場南側出入り口前で実施します。

③ 役員・補助員の出入り口は競技場南側出入り口のみ使用してください。

5) リレー選手に限り、メインスタンド北側に待機場所を設けてあります。

体調管理シートは、すべての入場者に必須です。選手は、検温後に検印を受けてください。その後、招集に提出してください。

1 本大会は2020年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施します。

* 本競技会の結果は、記録速報のほかリザルトが公表されます。結果には、順位・記録のほか選手の氏名・所属・学年を含みます。

※WA規則第143条（TR5：シューズ）のルール再改定があり、2020年7月28日から即時有効となりました。国内大会ではゴールデングラプリ（以後GGP）・日本選手権ではこの改定が適用されますが、それ以外の競技会では主催者の判断となります。

名古屋地区主催大会では参加者数が非常に多く、移行期間中の靴底の検査が不可能なため、この規定を適用して大会を運営して参ります。そのため、トラック競技の800m以上の種目では、25mm以上の厚底シューズを使用して出場した場合は失格となります。

規定詳細は最後に添付した資料を参照してください。

使用できるシューズの靴底の厚さについては、注意事項最後に掲載した資料を参照してください。

2 アスリートビブス(ナンバーカード)について

(1) 本年度の登録番号をユニフォームの胸、背に確実につけてください。走高跳、棒高跳は胸または背につけるだけで構いません。走幅跳、三段跳は、胸につけるだけでも構いません。

(2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付します。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつけてください。

(3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（フィニッシュ前方スタンド側）に返却ください。

3 ウォーミングアップ場について

- (1) ウォーミングアップ場は、瑞穂北陸上競技場とします。10時から男女の100mを実施していますので、バックストレート側を使用してください。
器具は、スターティングブロックのみ貸し出します。
最終種目の招集開始時刻まで使用できます。
- (2) フィールド種目の練習は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示に従ってください。
- (3) 瑞穂陸上競技場2階雨天走路でのウォーミングアップは一切禁止します。
雨天時も使用できません。
- (4) 競技開始前の本競技場のトラックは、大会の準備に支障のない範囲で出場競技者に限って、ウォーミングアップのために最初のトラック競技開始時刻**15分前**まで使用しても構いません。
それ以降は、**300mH出場者のみ練習を許可します。**
男子の高さは、7, 8レーンとします。
競技開始5分前に練習は終了とします。
- (6) 競技開始前の本競技場の練習では、持込の牽引用チューブやミニハードル等の使用は禁止します。
使用した、競技用の器具(スターティングブロック、ハードル等)は練習終了後、元の位置に戻してください。
- (7) 競技場正面のスペースにシート等を利用して、待機場所として使用しないでください。

4 招集について

- (1) 招集所は正面スタンド下、**100mスタート付近競技者ホール**に設けます。
北陸で実施する種目を除くすべての種目の招集をこの場所で行います。北陸上競技場で実施される種目に出場される方は、移動時間を考慮してください。
北陸上競技場で実施する男女**100m**は、北陸上競技場正面入口左側で招集を行います。
- (2) 招集の受付は本人が行ってください。時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めません。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準として、次のとおりとします。

| | 種 目 | 招集開始 | 招集完了 |
|---------|--------|------|------|
| トラック競技 | すべての種目 | 30分前 | 20分前 |
| フィールド競技 | すべての種目 | 50分前 | 40分前 |

5 競技場の入退場について

- (1) 入退場は、下記のとおりとします。

入場

本競技場への入場は、正面入口からとします。その後、雨天走路から招集所に移動してください。
北陸上競技場は、正面入口からとします。

退場

本競技場でのトラック競技は、フィニッシュ地点退場口から2階の雨天走路を経て退場してください。
北陸上競技場では、役員の指示にしたがってください

フィールド競技は競技場所から近い出入口から2F雨天練習場を通り退場してください。

6 レーン順・試技順について

- (1) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示します。
- (2) 欠場者のレーンは100m・300mではあけます。3000mについては競技役員の指示に従ってください。
ただし、欠場の状況によって組の移動を行う場合があります。
- (3) リレー種目で、欠場チームが多い場合は組み合わせを変更する場合があります。事前に欠場がわかっている場合には、本部までお知らせください。

7 競技について

(1)トラック競技

トラック競技は、すべてタイムレース決勝とします。

- ①スターターの合図は英語です。（「On your marks」、「Set」）
- ②すべて写真判定装置を使用します。
- ③短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走ってください。
- ④番組編成は申込記録上位から1組、下位を2組以降とすることを原則とします。
- ⑤**同タイムの着差は、1,000分の1秒差まで考慮します。**
- ⑥レース中に競技者が自らの意志でトラックを離れた場合は、そのレースを継続することができません(DNFとなります)。
- ⑦**リレーのオーダー用紙提出は、すべての組が1組の招集完了時間1時間前とします。**

(2)フィールド競技

長さを競う競技はすべての種目で、3回試技とします。

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従ってください。
 - ②投てき競技の計測は、光波測定器を使用します。
 - ③フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができます。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できません。
- (3) 競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則第144条2bで禁止されたビデオ装置・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することができません。
- (4) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外されます。警告は黄黒色（斜め半分形）のカード、除外は赤黒色（斜め半分形）のカードを示すことによって競技者に知らされます。

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

（ただし、天候等の状況により変更する場合があります。）

| | 練習 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
|-------|--------------|------|------|------|------|------|------|------|------------------|
| 男子走高跳 | 1m40 1m85 | 1m65 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m60 | 1m65 | 1m70 | 1m85までは5cm、以後3cm |
| 女子走高跳 | 1m25 1m60 | 1m45 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m65までは5cm、以後3cm |

※練習はいずれかの希望する高さで行うことができます。

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳では5cmとします。

9 競技用器具について

競技に使用する器具は主催者が用意したものを使用しなければなりません。ただし、やりについては、競技場に無いもの、もしくは1つしかない物の場合は持ち込みを認めますので、希望者は各競技の招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に南側器具庫（フィニッシュライン付近）でやりの検査を受けてください。検査に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとします。

10 競技用靴について（競技規則第143条2・3・4・5・6参照）

スパイクの長さは9mm以内とします。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とします。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければなりません。なお、スパイクの数は11本以内です。

さらに、シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さが種目ごとに定義されました。今大会は、以下の規定で実施します。規定に合致しない靴は使用出来ませんのでご注意ください。使用した場合は失格となります。

走高跳 靴底（ソール）全体 20mm（かかと含む）

走幅跳が 20mm に変更（ただし前部が踵部より厚くならない）。

トラック種目（1月の改定ではスパイク限定で上限 30mm だったのが、シューズという括りとなり）

800m 未満の種目は 20mm に変更、800m 以上の種目は 25mm に変更。

ただしトラックで実施される競歩だけはロードのルールを適用（つまり 40mm の厚底シューズはトラックでは使用可能になる）。ロードは 40mm、クロスカンントリー 25mm、マウンテンランニング・トレイルランニングは制限なし。

11 瑞穂陸上競技場の使用について

- (1) 今回の開門時刻は、午前 7 時 30 分とします。それ以前には立ち入らないでください。
- (2) ゴミは、各団体・各自ですべて持ち帰ってください。
- (3) 本競技場 1 階北側更衣室は 2 箇所とも女子更衣室とします。男子の更衣室は

12 一般的注意事項

- (1) 本大会は大型映像を活用して競技会運営を行いますので、氏名・所属等の間違いがあれば本部に申し出てください。
- (2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにしてください。更衣後の荷物は各自で管理してください。
- (3) 荷物・貴重品類は、各自で保管してください。万一の事故があっても、責任は負いません。盗難には十分に注意してください。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影を許可するエリアは、**メインスタンドのみ**とします。それ以外での区域での撮影はできません。その他にも、以下の場合の撮影を禁止します。

・選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、走高跳・棒高跳等で試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っている時。

※許可区域以外での撮影や、他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、直ちに警察および関係機関に連絡します。

【靴底の厚さ】トラック競技において、25mm以上の厚底シューズの使用はできません。

| | | |
|---------------------------------|--|--|
| 種目 | ソールの最大の厚さ (TR5.5、注意(i),(ii),(iii)及び、TR5.5の図(a)並びに有)TR5.13.3に基づく | 補足 |
| フィールド種目 (三段跳除く) | 20mm | 全ての投てき種目、高さの跳躍及び、三段跳を除く長さの跳躍種目に適用。全てのフィールド種目において、競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。 |
| 三段跳 | 25mm | 競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。 |
| 800m未満のトラック種目 (含むハードル) | 20mm | リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。 |
| 800m以上のトラック種目 | 25mm | リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。競歩種目ではロード種目と同様とする。 |
| クロスカントリー | 25mm | |
| ロード種目(含む競歩) 競歩はトラックロードは問いません | 40mm | |
| TR57の種目 (マウンテン・トレイル) | 規定なし。 | |